

ふれあう! 学ぶ! 体験する!
家族で楽しむ県の施設

家族でのお出かけにもおすすめしたい、
 奈良県営施設の楽しみ方を紹介します!



うだ・アニマルパーク

うだ・アニマルパークは、動物とのふれあいを通して「いのち」の大切さを学ぶ機会の提供及び県東部地域の振興に寄与することを目的とした公園。入園無料で動物たちと身近にふれあうことができ、動物愛護センターが併設されており、犬や猫を愛情を持って飼育できる方に譲渡している。子ども向け遊具もあり、緑豊かな環境の中、「動物のいるピクニック先」として楽しめる。

定期的に開催しているマルシェ(市)では、食べ物や雑貨販売、ワークショップなど、県東部地域の5市村の魅力がわかる機会にもなっている。



▼アニマルパーク名物・やぎの橋わたり



動物たちとふれあえる!

公園では、ポニーやミニチュアホースをはじめ、牛、やぎ、羊、うさぎ、モルモットなどの様々な動物が生活している。遠目で眺めるだけでなく、一部の動物は餌やりをしたり、一緒に写真撮影をしたり、身近にふれあうことができる。



さまざまな体験ができる!

やぎや羊への餌やり体験、バターづくり体験(当日予約)など、豊富な体験ができる。定期的に開催する子ども向けのイベント等の情報は、約1ヵ月前からHPに掲載される。体験は実施時間が決まっているもの、定員があるものが多い。到着したら、まず動物学習館で実施時間を確認し、申し込みを。



牛の模型を利用しているので、いつでも安全に「牛の乳しぼり」の体験が可能だ。

晴れた日におもいっきり遊びたい!遊具施設

展望広場には約50mの長いすべり台「アニマルスライダー」が2本あり、小さい子どもと保護者が一緒にすべれることで人気。展望広場の南側には1歳くらいの子から遊べる小規模の遊具施設もある。自然生態園には噴水池や東屋もあり、年齢を問わずさまざまな過ごし方ができる。



▲展望広場「アニマルスライダー」

「いのち」の大切さを学ぶ「いのちの教育」

うだ・アニマルパーク(以下、パーク)では、人と動物との関わりを入口にして、いのちの大切さを学ぶ奈良県「いのちの教育」プログラムを実施している。

授業を行うのは、パークに勤務する現役の小学校教諭。年度末にプログラムを受ける「モデル校」を募集し、1回はパークへの遠足、2回は学校への出前授業をする形で、各回「気づき」「共感」「責任」をキーワードに、「私たちと動物との関わり」「動物たちと私たちの『いのち』は同じ」「動物のために私たちができること」の3テーマを学ぶ。はりのこの動物などユニークな教材を使用し、子どもたち自身が考えながら授業が進んでいく。2023年度は県内79校がモデル校となっている。



うだ・アニマルパーク

☎ 0745-87-2520 📍 宇陀市大宇陀小附 75-1 📄 動物学習館 9:00 ~ 17:00 休 月曜日 (休日の場合は翌平日)、年末年始 (12/28 ~ 1/4)

 

うだ・アニマルパーク ホームページ うだ・アニマルパーク Instagram

なら歴史芸術文化村



▲文化財修復・展示棟の裏の「屋外体験ゾーン」は見晴らし抜群。大和盆地の向こうに金剛葛城山や、二上山、生駒山系が一望できる。

なら歴史芸術文化村は、

2022年3月にオープンした、奈良県のような歴史・芸術・食・農に触れることができる複合施設。「文化財修復・展示棟」には4分野の文化財の修復工房があり、窓越しに見学ができるほか、修理に関連したハンズオン（体験学習）やワークショップが用意されている。「芸術文化体験棟」では、アーティストとの交流や子どもを対象としたアートプログラムを体験できる。

道の駅としても登録されており、「情報発信棟」では観光案内、「交流にぎわい棟」のショップでは特産品の販売も。レンタサイクルなどもあり、周辺を巡るときのスタート地点としても活用したい。



▲一階にはデジタルギャラリーや図書閲覧コーナーがある。

なら歴史芸術文化村

☎ 0743-86-4420 📍 天理市 杣之内町 437-3 🕒 9:00 ~ 17:00 ※「交流にぎわい棟」ショップは9:00 ~ 18:00、レストランは~ 20:00 ※「情報発信棟」トイレと授乳室は24時間 📅 月曜日（休日の場合は翌平日。ただし、レストラン・ショップは月曜日も営業）、年末年始（12/28 ~ 1/4。ただし、レストランは12/28、29、ショップは12/28、29、1/4も営業）



なら歴史芸術文化村HP



なら歴史芸術文化村X (Twitter)

▼文化財の修理現場が間近に見学できる



文化財修理も 見て学ぶ施設



文化財修復・展示棟では、奈良県の文化財の修理現場を公開している。学芸員がわかりやすく修理内容を教えてくれる修復工房見学ツアーも毎日行う（当日申込制、先着順。休館日を除く）。
展示室では年に数回の企画展もあり、文化財を身近に感じ、深く学ぶことができる。



ワークショップの プログラムも豊富



カラフルなクリアソープやオーブン粘土で作る勾玉作りワークショップ、ミニ古墳出土鏡をつくる鑄造体験など、年齢を問わず楽しめるワークショップも多数開催。リピーターも多い。事前申し込み制（空きがあれば当日参加可）のため、HPの確認を。



奈良の特産品も 多数販売

「交流にぎわい棟」では、奈良県内の特産品を多数販売。「文化村にぎわい市場」では、旬の農産物や、加工品のお土産などが量・質ともに充実している。隣接する「文化村工芸品館」では、工芸品を販売。奈良の木を使った木工製品が人気だ。木の質が良く、加工技術が高い奈良県各所の名産品が1カ所で購入できる場所として、遠方からの観光客にも高い評価を受けている。



▲旬の野菜や果物を求める近隣の人も多い。



写真映えするスポットや 子連れに嬉しい設備も

村内には、特に写真映えがするスポットに「PhotoSpot」看板が設置され、現時点では10カ所ある。「文化財修復・展示棟」入り口の木製植輪「はにま」は、またがって写真がとれる。また「芸術文化体験棟」の3階テラスからの幾帳池に映る緑と青空の風景も美しい。3月には同施設で実施された幼児向けアートプログラムの1年の成果展を予定している。

幼児連れの方向けの施設機能としては、施設内の3カ所に個室タイプの授乳室がある。情報発信棟の授乳室と建物外のおむつの自動販売機は、どちらも24時間利用できる。





四季を通じて
花・植物を楽しむ



▲▶2月頃には
河津桜や梅が見
ごろとなる。



今の花の見ごろを
確認するには「馬見
花だより」サイトを
チェック!



馬見花だより

季節ごとに見ごろの花が楽しめるよう、多くの花が植えられている。春はチューリップ、梅雨の時期はあじさいや菖蒲、夏はひまわり、秋はコスモスやダリア、冬はパンジー、ハボタンなど。花壇の植栽従事者だけでなく、ボランティア「花サポーター」も協力し、植え替えやメンテナンスを行っている。

県営馬見丘陵公園



▲国指定史跡のナガレ山古墳は、東半分は葺石で覆い、埴輪を並べて、1600年前の築造当時の墳丘を復元している。

四季折々、多くの花や植物を楽しめる憩いの場として多くの人が訪れる馬見丘陵公園。大和三古墳群の1つ「馬見古墳群」(4〜5世紀)がある丘陵にあり、古墳周辺の自然や歴史文化遺産を守り、県民に広く活用してもらうことを目的に公園として整備された。

広陵町・河合町の2町にまたがる敷地は56.2haと非常に広い。北エリアには花壇や大型遊具やカフェなどが、中央・南エリアには古墳や森林に包まれた池がある。来園目的に合わせて、なるべく近い入り口から入園するとよい。



▲大型テント横の「集いの丘」頂上からの眺め。

▼なだらかな傾斜地を利用した大花壇。季節によって花を植え替える。



冒険心をくすぐられる 大型遊具



大きなローラースライダーや、クライミング、吊り橋があり、子どもたちに大人気。休日には長い列ができることも。幼い子ども向けには砂場や、小さなすべり台もあり、年齢を問わず楽しめる。



▲すべったり、ぶら下がったり、登ったり。大型遊具はアスレチックジムのように。

公園の自然と古墳を 学べる馬見丘陵公園館

公園中央口すぐの馬見丘陵公園館1階展示室では、公園内の古墳と自然について学習できる模型やパネル、動画などが常設展示されている。展示の内容は、園内の自然に関するものと、古墳に関するものの2種類がある。前者では、園内の木々や花々にどのようなものがあるか、どんな野鳥や小動物、昆虫たちが住み家としているかを紹介する。事前学習すれば、生態系の観察がしやすくなる。後者では、古墳の種類や、古墳の造り方、被葬者と一緒に納められた副葬品などを紹介する。実際の古墳は全長数百メートルを超えるものもある。現地では分かりづらい全体の形状も、模型を見ればわかりやすい。



県営馬見丘陵公園

☎0745-56-3851 (中和公園事務所) ☺北葛城郡河合町佐味田 2202 ☑駐車場閉場時間 (通常期) 18:00、(6月〜8月) 19:00、(11月〜2月) 17:00 公園館は 9:00-17:00 (入館は 16:30 まで) 休なし。公園館は月曜日 (休日の場合は翌平日)、年末年始 (12/28〜1/4)



馬見丘陵公園HP



馬見丘陵公園
Instagram